

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヴィストカレッジ富山中央（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年11月22日		～ 2025年12月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	79名	(回答者数) 59名
○従業者評価実施期間	2025年11月22日		～ 2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月19日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日中一時支援と放課後等デイサービスの多機能型支援	<ul style="list-style-type: none"> 不登校傾向のある方が多く利用されており、安心して過ごせる居場所としての提供を行っている。 日中一時支援：不登校の方の日中安心して過ごせる居場所としての提供、年齢に応じたシフト構成（小・中高生で曜日を分けている）保護者のレスパイトなどにも繋がるよう平日だけでなく長期休暇中も実施。 放課後等デイサービス：個別ワークと（スタッフと1対1の環境）集団活動（5～6名）が選べることで本人や保護者のニーズに応じた支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 日中一時支援では、引き続き居場所としての提供をしつつ、進路支援のニーズもあることから放課後等デイサービスも含めた保護者会の提供なども行っていく。 放課後等デイサービスにおいては各種研修への参加機会を増やす、支援における個別面談や児発言の支援同席などを行いながらスタッフの支援力向上を図っていく。
2	楽しい経験から学ぶプログラム提供と個別に応じた進路支援	楽しい経験を通して他者との関わりを学べる機会自力通所や公共交通機関の利用や、進路支援（進学、就労）を学校就労支援事業所や就労継続支援B型事業所と連携して進めている	楽しい経験の中でも将来の自立を見据えて活動内容を工夫し、ライフスキルを学べる機会を充実させていく。また自拠点だけではなく他の拠点の見学や情報交換などを通して様々な視点
3	星槎国際高校との提携（サポート校）	不登校経験のある方が多く、高校に行きたいけど全日制は難しい方がおられるため、その方たちの進路選択の1つとして星槎国際高等学校と提携し、サポート校（通信制）として支援。レポート学習のスケジュールリングやスクーリングへの同行な本が安心して学校生活を送れるよう支援	保護者会等を通してサポート校の周知や情報提供を行っている。今後サポート校を希望される方が増えてくる可能性があるため、星槎国際高校と連携や人的環境を整えながらサポート体制を築いていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関われる機会が少ない	就労移行支援事業所や就労継続支援B型事業所との合同保護者会は実施しているが、事業所内だけの独自の保護者会の実施ができていない	日中一時支援利用の保護者からも進路支援や保護者会を希望するニーズがあるため、日中一時支援を利用されている保護者も含めて合同保護者会を検討する。年間スケジュールをもとに定期的な開催を実施する
2	各種訓練（避難訓練、自然災害、感染症対策）などの周知が不十分	エントランスに掲示などが中心であったことが要因。中高生拠点であり1人で公共交通機関を使用し来所される方も多く、各種案内が十分に保護者に伝わっていない	各種研修や案内をLINEメニューを活用し、保護者への周知を行っていく。またブログ発信やリンク先をLINEに添付するなどSNSの活用も増やしていく
3			